

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
なお、さらに詳細な内容を「[ユーザーズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告

人か死亡する、または重傷（※¹）を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

人が軽傷（※²）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※³）の発生の想定される内容を示しています。

お願い

本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

（※¹）

重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中傷など後遺症が残るものおよび治療入院や長期の通院を要するものを示しています。

（※²）

軽傷：治療入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを示しています。

（※³）

物的損害：家屋、家財および家具、ペットなどにかかわる拡大損害を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

一般注意

発火注意

感電注意

高温注意

破裂注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

風扇などの使用禁止

火気禁止

■ 行為を指示する記号

一般指示

電源プラグをコンセントから抜く

電源

● 100V ACの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

● 電源コードを傷つけない、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをせたり、加熱したりしないでください。

● ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。

● ACアダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。

● 本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他のACアダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。

● ACアダプタにものをせたり布を掛けたりしないでください。

● 本商品に添付のACアダプタは日本国内100V AC(50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。

● ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご利用ください。

● ACアダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。

● ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜き差し型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体およびACアダプタ）

a. 煙が出てい、変なにおいがするなどの異常状態のとき

b. 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき

c. 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき

d. 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき

e. 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

● 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や警備システムなど）では使用しないでください。

● 本商品を分解・改造しないでください。

● ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

● 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。

● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。

● 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。

● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、湿度の高いところに置かないでください。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たするような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。

● 通風孔をふさがないでください。次のような使いかたはしないでください。<悪い例>・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む・じゅうたんや布団の上で置く・ケーブルクロスなどを掛ける

● 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。

● ペニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

電源

● 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグ（形状によってはACアダプタ本体）を持って抜いてください。

● 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。

● お手入れの際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

● 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。

● 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。

● 本商品の使用中や使用直後にACアダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

● 本商品に乘らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

● 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。

● 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障はありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。

● 壁掛けで使用する場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。

● 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

● 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。

● 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

● 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。140秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。

● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入ると電源が入らなくなることがあります。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN 製品は、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利用があります。
その反面、電波がある範囲内であれば悪意のある（盗聴）を超えてすべての場所に関わらず、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意のある第三者が、電波を盗聴し、傍受し、Wi-Fi（無線）またはクレジッドカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意のある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物にのみアクセスして盗聴し、不正な情報を盗取（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本家、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行っていない場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行っていただくことをお勧めします。
セキュリティ対策をほどこす。あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社にこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キーは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

● 自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（※ 画面「クイック設定 Web の起動方法」）
【更新があったら、すべてバージョンアップする機能（工場出荷時の設定）】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：ON
【重要な更新のみバージョンアップする機能】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
※「メンテナンスバージョンアップ機能」は「クイック設定 Web の「詳細設定」→「その他の設定」画面（ブリッジモードまたはメッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用する場合は「基本設定」→「基本設定」画面）、時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」画面にて設定できます。
※ 時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加／変更を行います。意図しない機能追加／変更の可能性があるため、更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする機能）に変更する必要があります。
※ 自動バージョンアップ機能は、本機能の実施によって、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
※ 【重要な更新】とは、NEC プラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、事前に当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。
自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従来制御要領契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信超過による過度制約が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様がご負担ください。
本機能では、本商品に関する機器情報・ネットワーク情報を当社に運用するサーバーへ通知します。これらの情報（※）は、本商品の実現と製品の品質改善・機能向上、製品企画のために利用します。なお、お客様の利用環境におけるセキュリティや利便性の向上を図ることを目的に第三者に提供する場合もあります。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに限り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合があります。また、お客様の取り扱い手続きに限り、適切な管理を行います。
（※）サーバーへ通知される情報には、以下が含まれます。詳細は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

- ・本商品の機器情報（製造番号、MAC アドレスなど）
- ・ネットワーク状態（ネットワーク名（SSID）など）
- ・通信利用状況（動作モードなど）

本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（「OFF」）にしてください。「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にする、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」になります。ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。なお、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。<ファームウェアのバージョンアップ手順>
1. クイック設定 Web を起動する（※ 画面「クイック設定 Web の起動方法」）
2. ホーム画面の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」をクリックする
3. 「ファームウェア更新」の「更新」をクリックする
4. 「ファームウェア最新バージョン取得中」の画面が表示されるので、そのままだましばらく待つ
5. 表示された「最新のファームウェアバージョン」が、「現在のファームウェアバージョン」よりも新しい場合は、【最新バージョンへ更新】をクリックする
※【最新のファームウェアバージョン」と「現在のファームウェアバージョン」が同じ場合は、ここで終了です。ログアウトをして「クイック設定 Web」を終了してください。
6. メッセージ画面が表示されたら、内容をよく読んで【OK】をクリックする
7. 「ファームウェアを更新しています。更新後に本商品の再起動を行います。XXX 秒ほどお待ちください。残り XXX 秒…」と表示されるので、そのままだましばらく待つ
8. メッセージ画面が表示されたら、内容をよく読んで【OK】をクリックする
● 保守サービス機能は、本商品に対してインターネットを介して保守を行う機能です。
保守サービスの開始には、本商品に関する機器情報・ネットワーク情報が当社の運用するサーバーへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報に基づき、本商品に保守サービスが開始されます。保守サービスの開始には、Wi-Fi の接続が必要となります。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに限り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましては、当社の取り扱い手続きに限り適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただいたあと、本機能が利用可能となります。
※ 保守サービスの内容などは予告なく変更されていただく場合があります。

電波に関する注意事項

● 本商品は、技術規格適合証明を受けています。

- IEEE802.11ax（5GHz 帯）、IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W56）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（U52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
【IEEE802.11a/n/ac/ax】 W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
W56（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
W52（5.2GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。
5GHz 帯で接続する子機は、以下の表が有効なものを実装します。
 - ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
 - ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
 - ・ W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）
- W53（52.56,60.64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャネルの通信帯域は、1 分間のピーク電力検出率を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11ax（2.4GHz 帯）、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの家電・科学・医療機器のほか、他の同周波数帯、工場の装置ラランなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) ワー、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11ax（2.4GHz 帯）、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4	2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4	想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■ ■ ■	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

● 本商品は 2.4GHz 帯で利用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の AFR 規程により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかを行うことを推奨します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。）
● デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
・デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合は、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かください。
・万、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

— — — ：直流

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置はラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

ホームネットワークセキュリティ機能に関する注意事項

「ホームネットワークセキュリティ機能」は、工場出荷状態で有効（「ON」）に設定されており、本商品をルータモードでインターネットに接続すると自動的に起動します。
「セキュリティ機能」については、「ホームネットワークセキュリティご利用前にお読みください」（別紙画面）を参照してください。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効（「OFF」）にすることができます。その場合は、本商品の WAN ポート未接続の状態でも本商品を起動し、クイック設定 Web（※ 画面「クイック設定 Web の起動方法」）の「詳細設定」→「ホームネットワークセキュリティ機能」画面にて「ホームネットワークセキュリティ機能」を「OFF」にしてから、本商品の設置・接続を実施してください。

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを手入力し、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布および変更することができます。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などに準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に類似海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続をお取りください。
ご不明な点や、または輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。
本商品に接続した機器の情報は、ご利用開始時の状態から変更した無線の暗号化キーなどの情報は、第三者に漏洩しないよう、本商品を初期化してから廃棄することをお勧めします。（故障等で初期化ができない場合を除く）

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複製することは禁止されています。

(2) 本書の図形については、将来予告なしに変更する場合があります。

(3) 本書の図形については完全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

(4) 本商品の故障・誤動作・不具合あるいは停電など外部要因によって通信不能の機会を造したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

(5) セキュリティ対策をほどこす。あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社にこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

(6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落着きや漏電など）により故障してしまては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みください。記載されていない注意事項については、サポートデスクの「お問い合わせ」を参照してください。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられる代表的なトラブルとその対処を下記に記載します。
※ この他にサポートデスク（※ 右記「お問い合わせ・保守サポート」）にある「Q&A」でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらもあわせて参照してください。
※ 解決しない場合は、本商品を初期化（※ 下記「初期化方法」）し、はじめて設定し直してお試しください。
■ CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない
ご使用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの両方で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社へ確認してください。
■ ACTIVE ランプが緑色に点灯している
故障や通信エラーではありません。ブリッジモード（ルータ機能停止）で動作している状態です。（本商品をメッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用する場合は、親機と 2.4GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。）
■ クイック設定 Web が開かない
● ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。

- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。（パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。）
- Web ブラウザの設定でキャッシュを使用している場合、キャッシュの削除をお試しください。
- 「ネットワーク Wi-Fi（ネットワーク分機能）」が「ON」になっている場合は、「リモートワーク Wi-Fi（ネットワーク分機能）」を「OFF」にしているネットワーク名（SSID）に接続。または有線接続してください。

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。暗号化キー、管理者/パスワードは初期値に戻り、お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化してからも、クイック設定 Web（ホーム画面）の「メンテナンス」→「既定値の保存（復元）」にて既設の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。（ただし、管理者/パスワードは復元できません）
※ 初期化後、本商品をより安全にお使いいただくために、暗号化キー、管理者/パスワードは初期値から変更してください。（※STEP5）
① 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する
※ 電源を入れた直後や電源を入れた直後の場合は、約 3 分お待ちください。
② RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で押し続け、POWER ランプが赤点灯しはじめたら放す
※ POWER ランプが赤点灯をはじめまで約 6 ～ 10 秒待ちます。
③ 約 30 秒待つ
※ 前面のランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。

RESET スイッチ

本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。（2024 年 2 月現在）
■ つぎにかたひド（本書）
基本的な接続パターンを例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。
■ ユーザーズマニュアル（Web サイトに掲載）
本商品のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本商品の基本事項についても記載しています。
→ 右記 QR コードまたは下記から参照してください。
サポートデスク（※ 右記「お問い合わせ・保守サポート」）→「マニュアル」→「ユーザーズマニュアル」

ブリッジモード（ルータ機能停止）で使用する場合は

別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のブロードバンドモデムなどに本商品を接続する場合は、ブリッジモード（ルータ機能停止）を使用します。
※ 接続するルータがメッシュ親機の場合は、本商品のメッシュ Wi-Fi 機能を OFF にしてください。【ユーザーズマニュアル】
同じルータに接続されているネットワークに複数のメッシュ親機を接続すると、正常に通信できなくなる可能性があります。ブリッジモードに設定するには、下記の手順で設定してください。
① 本商品の電源を切った状態で RT/BR/M/A モード切替スイッチを BR 側に切り替え、本商品の電源を入れる
※ しばらくして ACTIVE ランプが緑点灯すれば、ブリッジモードに設定完了です。
※ ルータ機能内蔵のブロードバンドモデムなどとの接続には、本商品の WAN ポートをご使用ください。
② STEP5 を参照して、本商品の暗号化キーと管理者/パスワードを初期値から変更する

メッシュ中継機として使用する場合は

本商品をメッシュ中継機として使用する場合は、メッシュ親機との接続設定をしてください。
メッシュ親機には、本商品と同じ WX5400HP など、本商品のメッシュ機能に対応した機器を使用してください。
ここでは、LAN ケーブルを使用した設定方法を説明します。詳細な設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
① 本商品の管理者/パスワードを初期値から変更する
※ 初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/M/A モード切替スイッチが RT 側）で行います。
● STEP1 の手順④、⑤→STEP2 →STEP5 の手順④、⑤を実施してください。
② 本商品の電源を切った状態で RT/BR/M/A モード切替スイッチを M/A 側にする
③ 本商品（メッシュ中継機）の WAN ポートとメッシュ親機の LAN ポートを LAN ケーブルで接続する
④ メッシュ親機の電源が入っていることを確認する
⑤ 本商品の電源を入れ、約 5 分待つ
⑥ 本商品の ACTIVE ランプが緑点灯、MESH ランプが緑点灯することを確認する
⑦ Wi-Fi 接続を使用する場合は、手順③で接続した LAN ケーブルを取り外す

メッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用する場合は

本商品は、メッシュ機能を利用せずに、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LAN ポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続して子機（イーサネットコンバータ）として使用したりすることができます。メッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用するには、下記の手順で設定してください。詳細な設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
※ 設定の際は、親機の近くに設定してください。なお、下記手順の親機は、Aterm シリーズを例としています。
※ 下記手順では WPS を使用します。WPS を使用するには、親機の暗号化モードは「WPA3-SAE（AES）」、「暗号化無効」以外のモードにしてください。
① 本商品の管理者/パスワードを初期値から変更する
※ 初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/M/A モード切替スイッチが RT 側）で行います。
● STEP1 の手順④、⑤→STEP2 →STEP5 の手順④、⑤を実施してください。
② 本商品の電源を切った状態で RT/BR/M/A モード切替スイッチを M/A 側に切り替える
③ 本商品の SET ボタンを長押しして、POWER ランプが緑点滅した放す
④ 親機の WPS プッシュボタン（SET ボタン、無線ボタン、らくらくスタートボタンなど）を長押しして、親機の POWER ランプが緑点滅した放す
⑤ 本商品の POWER ランプが緑点灯することを確認する
※ しばらくして本商品の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが緑点灯または緑点灯します。

お問い合わせ・保守サポート

■ ホームページ「サポートデスク」
<https://www.aterm.jp/support/wx5400hp/index.html>

QRコード

・Aterm の機能、操作、設定についてご不明な点がある場合は、サポートデスクを参照してください。
サポート情報の閲覧やソフトウェアのダウンロード、「Q&A」でご不明な点の検索などができます。
・「故障かな？」と思われる場合は、本書に記載の「トラブルシューティング」をご確認ください。
・Aterm インフォメーションセンターの窓口については、サポートデスクの「お問い合わせ」をご確認ください。

■ 保守サポート期間

本商品の補修性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品、以下、保守部品）は、販売終了後、約 5 年間保有してあります。
・保守部品の保有期間（以下、保守期間）が終了しますと、修理受付や添付品の販売受付も終了いたします。
また、電話などによるお問い合わせサポート業務も終了させていただきます。あらかじめご了承ください。
・保守期間の確認は、「Aterm のサポート期間について（https://www.aterm.jp/support/inquiry/hoshu_list.html）」を参照してください。

QRコード

■ Aterm は、NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。 ■ Wi-Fi、Wi-Fi Alliance および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。 ■ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ■ Google Chrome、Android は、Google LLC の商標または登録商標です。 ■ Oracle と Java は、Oracle Corporation またはその子会社、関係会社との関係およびその他の国における登録商標です。 ■ Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。 ■ QR コード は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 ■ ホームネットワークセキュリティは、トロンディンク株式会社商標です。 ■ その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。
© NEC Platforms, Ltd. 2021-2024 NEC プラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改竄、および複製等を転写することはできません。